

YOUTH MANNA



人の子が、仕えられるためではなく仕えるために、また多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを与えるために来たのと、同じようにしなさい。(マタイ20:28)

2026/3/2(月)

民数記 31:25-47

●分捕ったものは、どのように分けられたかな？(27)

●神様は、なぜ会衆にも分けるように命じられたのだろう。会衆は、先の戦いでどんな役割を担ったのだろう。

●教会の中でも色々な奉仕がある。みんなにとって目立つ奉仕、目立たない奉仕は何だろう？

★ここで重要なのは、目立つ働きも目立たない背後にある働きも等しく大切だということ。みんなは、「こんなことやっても無駄だ」と思うようなことはある？神様は、全ての働きに目を留めてくださっているお方であることを覚えよう！

2026/3/3(火)

民数記 31:48-54

●イスラエルの指揮官たちが部下の戦士たちの数を確認した結果はどうだった？(49節)

驚くような勝利の結果に、彼らはそれが神様の守りであることを受け止め、自発的にささげ物を持ってきた。それらの金は16,750シケル。約190キロにもなった。現代なら40億円以上にもなる。これは主の前に信仰を表す記念として残されたよ。君がすすんで神様に捧げているものはあるだろうか？惜しむ気持ちからではなく恵みを覚えて感謝してささげよう！

2026/3/4(水)

民数記 32:1-19

●ルベン族とガド族が約束の地の手前にある地を得たいと申し出た。モーセの目にそれはどう見えただろう。

●モーセの指摘に対して、ルベン族とガド族が約束したことは？

●自分の願いや思いをあらわすことは悪くないけれど、それが全体の益となっているかはよく考えるべきことだね。自分の行いや態度、ふるまいが教会に及ぼす影響について考えてみよう。イエス様が愛された教会を愛することについてはどうだろうか？

2026/3/5(木)

民数記 32:20-42

●第七の月のなんの日のささげ物の決まりかな？1節

●十日は何をしてはいけないかな？7節

●この箇所は、イスラエルの新年のささげ物の箇所だよ。十日はなだめの日で仕事を休む日だね。イスラエルの人たちは第七の月の1日、一年の農作業の終わりに、主の前に霊的な準備をしていたよ。角笛によって集められて、罪と向き合い、決められた特別なささげ物をささげていたよ。私たちがイエス様の福音に集められているよ。私たちが罪と向き合い悔い改めて出ていこう！

2026/3/6(金)

民数記 33:1-49

出エジプトから約束の地まで、イスラエルが荒野の旅の全ての行程が書かれているよ。

●3-4vを読むと、エジプトを出た時エジプト人たちは何をしていたかな？

●8vを読むと、ピ・ハヒロテで民が経験した奇跡はどんなことだったと想像できる？

●過越の出来事と海が割れる奇跡について書かれている分量が多いね。僕らはいろんな機会でもこれを振り返ったりするけど、その時に「神様してくれた！」って感じるが増えることがわくよ。今の学年でそう思えることあったかい？

2026/3/7(土)

民数記 33:50-56

約束の地カナンに入る直前に神様が語った大切なことが今日の箇所には書かれているよ。

すべきことは、その地の人々を追い払い、すべての偶像礼拝を壊すことだった。その地の人からしたら可哀想と思う部分もあるけれど、神様が1番無くしたかったのは神様以外を礼拝する文化や、偶像礼拝そのものだったんだ。そして相続地をくじで割り当てることは『神様がこの地を与えてくださった』ことをしっかり覚えるためにしなさいと語られた。これに従わずにいればイスラエルの人々自身が苦しむことになる、だから神様は厳しくもそう命じたんだね。

私たちの中には、神様に従うことを邪魔しているものはないかな？神様に委ねるべきものがあればそれを主の前に持っていこう。

2026/3/8(日)

民数記 34章

会堂建設の際、境界を明確にして争いを防いだように、神様もイスラエルが混乱なく祝福のうちに歩むため、約束の地の境界を具体的に定められました。主の約束は曖昧ではなく確かなものです。その実現のために祭司エルアザルやヨシュアらが立てられました。

私たちが計画と祈りをもって神様の導きに従い、約束の成就を体験していきましょう。